

「住吉小学校の正名やっこ伝承活動の取組」

1 学校名

知名町立住吉小学校

2 学年・人数

全校児童（計39人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成27年 9月4日～24日 総合的な学習の時間（本校体育館）

平成27年 9月25日（日） 発表会リハーサル（本校運動場）

平成27年11月14日（土） 学習発表会リハーサル（住吉公民館）

(2) 発表の日時・場所

平成27年 9月27日（日） 秋季大運動会（本校運動場）

平成27年11月15日（日） 地域合同学習発表会（住吉公民館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

正名やっこ（まさなやっこ）

(2) 由来

今から約400年前から沖永良部全体で踊られていた、最もポピュラーな踊りがやっこ踊りであった。平成4年に、知名町の無形民俗文化財に指定、平成26年に鹿児島県無形民俗文化財に指定された踊りである。

(3) 構成等

正名やっこは、畦し越し（あぶしぐい）天ぬ群星（ていんぬぶりぶし）久高マンジュ主（くだかまんじゅうしゅ）の3曲で構成され、集落では、老若男女がお祝いの席で勇壮かつ軽快に踊られていた。

5 保存会や地域との連携の具体

従来は、学校の教育活動として伝承活動を位置づけてきたが、授業時数の削減により練習時間を授業の中で位置づけることが困難になってきた。

そのため、ここ2・3年は正名やっこ保存会が中心となって伝承活動を行い、学校の教育活動としては、運動会直前に体育学習として隊形確認を行うのみだった。

そこで、本年度から学校が中心となり、正名やっこ保存会の全面的な支援の下、「正名やっこ」を発足させ、住吉校区全体の郷土芸能として位置づけた。これにより、全校児童を中心に校区ぐるみでやっこを伝承していく体制が整った。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながらやっこ踊りを伝承していくために、学校に「正名やっこを踊る会」を発足させている。これにより、会員でもある全校児童を中心に地域ぐるみでやっこ踊りを伝承していく体制が整った。

また、「地域の郷土芸能は地域で守り育てていく」という自覚を促すねらいから、正名子ども会が中心となって伝承していく体制を維持するようにした。

さらに、正名やっこ保存会と連携して郷土芸能の継承活動を積極的に進めていく。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



運動会前日のリハーサル風景



秋季大運動会での発表



秋季大運動会での発表



秋季大運動会での発表



学習発表会での発表



学習発表会での発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【2年生児童】

さいしょはむずかしかったが、おじいちゃんから教えてもらいじょうずにおどることができた。

【5年生児童】

今まで練習してきたので、腕を伸ばすところに気をつけて、おじいちゃんたちに教えてもらったことを思い出しながら踊った。

【6年生児童】

下級生のお手本になりながら「正名やっこ」踊りをしてきた。本番でも上手に踊ることができ会場からたくさんの拍手をもらい自信が付きました。

最初は踊れるか心配でしたが、指導してくれたおじいちゃんが、「がんばれ」と言ってるように聞こえ、曲が流れると体がスムーズに動いた。最後に大きな拍手が聞こえてきて今までのきつい練習が吹っ飛んでいった。これで自信がついた。

【保護者】

全校児童が、この「正名やっこ」を踊るという伝統が根付いてきており、練習を積極的に行っている。また、上級生になると下級生にしっかり手ほどきする姿が印象的でよき伝統になってほしいと思う。

伝統芸能「正名やっこ」を全児童が必死になって踊る姿は感動ものでした。これからも伝統の「正名やっこ」を続けていってほしいと願うばかりである。

【教職員】

保存会の方々と連携を図りながら練習することができ感謝している。児童も伝統芸能「正名やっこ」を踊れることを誇りに思い、地域への愛着や誇りが保護者の願いでもあるように思われる。

【保存会】

「正名やっこ」保存会としても小学校と連携を図り、平日の練習にもかかわらず多数の指導者が参加し、小学生への指導を行ってきた。郷土芸能発表会にも3年生以上全員が参加して発表することができた。会場から大きな拍手喝采を受けることができ、児童への自信につながった。また、運動会では、全児童、全職員いっしょに踊った。

【地域から】

全校児童が「正名やっこ」を難しい動作があるのにしっかり身に付け、踊る姿に感心した。今、こうやって踊れることで大人になっても踊りつづけてくれると思います。今後も楽しみです。

人数は少ないが小学生、中学生、保存会の方々が校庭いっぱいに広がり踊る「正名やっこ」は、すばらしいの一言。これからもずっと引き継がれていくことを楽しみにしています。お疲れ様でした。